

児童会、本格的にスタート！

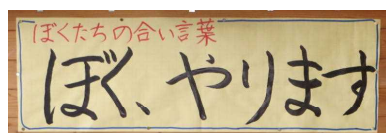
4月28日、「児童会がんばるその会」が開かれ、今年度の児童会活動の進め方について、全校のみんなで確認しました。

はじめに、この日の集会のめあてを確認しました。今回のめあては、次の2つです。

①児童会のテーマを覚えること ②各委員会の年間計画を知ること

集会になんとか参加するのではなく、「この集会は、何をするための集会なのか。」という見通しをもつことが大切だと考えます。

続いて、3つの委員会からメンバーの自己紹介、年間の計画、活動のめあてが発表され、それに対して、フロアの児童から質問やアドバイスが出されました。3つの委員会から発表された内容は次の通りです。



6年生の教室で見つけた
キーワード

- 運営委員会 委員長 T.
めあて「全校をまとめながら、進んで活動しよう！」
- 学習委員会 委員長 S.
めあて「本好きの学校になるように、みんな日本をすすめよう！」
- 健康委員会 委員長 H.
めあて「健康、元気、安全で、キラリかがやけ中川っ子！」

続いて発表された今年の児童会テーマは「42人助け合い、仲良く笑顔でがんばろう！」です。「助け合う」「仲良く」「笑顔で」というめあては、一人で達成できることではなく、「みんなと一緒にだからこそ達成できることです。全校のみんなに次のような質問をしてみました。

「みなさんは、先生方が全部指示をして、その通りにやるのがいいですか？ それとも、自分達でできそうなことは、みんなで考え、みんなで相談して決めて、実行するほうがいいですか？ どっち？」

全校のみんなと先生方とで、後者の方を目指そうと確認したことは言うまでもありません。児童会活動は、「自分だけ」ががんばってもうまくいきません。「自分達」のがんばりや心がけが大切です。また、「誰かがやるから、自分はやらなくてもいいや。」と思う人が一人でもいるとうまくいきません。「自分は、ちゃんとやっているかな？」という「問い」と、「自分達は、ちゃんとやっているかな？」という「問い」の両方を大事にしたいと思います。

この学校だよりのタイトルは「三省」です。調べてみると、次のような中国の古い教えからきているそうです。

「三省」：「吾日に吾が、身を三省す。」（われひにわがみをさんせいす）
→「わたしは、一日に何度も自分の行いを振り返る。」

この日の集会の振り返りに次のようなものがありました。

「今日の集会の2つのめあてが守れてよかったです。今日確かめたことをこの後の児童会活動に生かしたいです。」

今日の「児童会がんばるその会」のように、「見通し（めあて）をもって取り組み、めあてに沿って振り返ったことを次につなげる（生かす）」ということ、これからも大事にしていきたいと改めて感じました。



運営委員会



学習委員会



健康委員会



フロアの児童からは、的を得た質問やアドバイスが…



今後につながる振り返りが…

環境整備作業 ありがとうございました

5月7日（日）、長い連休の最終日に第1回PTA環境整備作業が行われました。スポーツ少年団の活動などと重なってしまったご家庭もあったようですが、保護者の方々、子どもたち、職員とで作業を行いました。

前日の雨のため、作業を校舎の窓ふきに絞り、各学年の教室や特別教室、ホールや廊下の窓ガラスをみんなで役割分担してピカピカに磨き上げました。親子で声を掛け合ったり、友達と相談しながら作業を進める姿がなんともほほえましく、窓ガラスだけでなく、心もスッキリと磨かれたように感じました。せっかくのお休みのところをお出でいただき、本当にありがとうございました。おかげさまで連休明けの学校生活をとても気持ちよく過ごすことができている。今後も、本校の教育活動への変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。



上手に役割分担しています



校舎の中が、とっても明るくなりました

